

2021年度 授業シラバスの詳細内容

| ○基本情報 | | | |
|-------------|--|-------------------|-----------------------------|
| 科目名 | フィールドワーク (Fieldwork) | | |
| ナンバリングコード | E31305 | 大分類 / 難易度 科目分野 | 経営経済学科 専門科目 / 応用レベル 特別科目 |
| 単位数 | 1 | 配当学年 / 開講期 | 1年 / 前期・後期 |
| 必修・選択区分 | 選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。 | | |
| 授業コード | E043901 | クラス名 | - |
| 担当教員名 | 今西 衛 | | |
| 履修上の注意、履修条件 | この科目は、1週間(8時間×5日)以上のインターンシップを対象とする認定制科目(履修登録不要)です。インターンシップとは、学生が一定期間企業等(各種法人や国の組織、地方公共団体など)の中で研修生として働き、自分の将来に関連のあると思われる業界で就業体験を行うための制度です。便宜上1年次に開講されていますが、インターンシップは大学に在籍する4年間のうちのどの時期において実施しても、それぞれの時期に相応する取り組みにより、有意義な成果を得ることができま | | |
| 教科書 | とくに指定しません。 | | |
| 参考文献及び指定図書 | 研修中に、適宜紹介される場合があります。事前研修担当者や企業等担当者の指示に従ってください。 | | |
| 関連科目 | 社会参画入門、社会参画実習など、人間力育成関連科目のほか、研修内容に関連する科目。 | | |

| ○基本情報 | | | |
|------------------|--|---------------|--|
| 授業の目的 | 社会経験と職場体験により、就職に対する意識を高めるとともに、現在の自分ができることとできないこと、今後の自分にとって必要なことを確認し、社会に出るために、大学在学中に身につけおかなければならない能力や知識、技術などを確認します。 1. 2年生にとってインターンシップ研修は社会経験の場であり、働くということはどういうことなのかを企業等において実体験することにより、学生と社会人との違いを自分自身の問題として感じ取り自覚し今後の学修に役立てることを目的とします。 3. 4年生にとって就職は直面した問題であり、インターンシップは自分の目指す業界や職種を肌で感じてモチベーションを高めるための研修となります。様々な職場を体験する事で、自分に合った仕事を見つけるためのヒントを見出してください。 | | |
| 授業の概要 | この科目は、インターンシップを対象にしています。「フィールドワーク」は集中講義に分類され、一般の授業とは異なり企業等の都合に合わせて不定期に、ときには複数回をまとめて実施されます。インターンシップを有意義なものとするため、企業における現場実習だけでなく、以下の「授業内容」の通り、事前研修等と合わせて実施します。 | | |
| 授業の運営方法 | (1) 授業の形式 | 「演習等形式」 | |
| | (2) 複数担当の場合の方式 | 「該当しない」 | |
| | (3) アクティブ・ラーニング | 「実習、フィールドワーク」 | |
| 地域志向科目 | カテゴリー II : 地域での体験交流活動を教育内容に含む科目 | | |
| 実務経験のある教員による授業科目 | 該当しない | | |

| ○成績評価の指標 | | ○成績評価基準(合計100点) | | |
|-------------------|---|-------------------|-------------------|------------------|
| 到達目標の観点 | 到達目標 | テスト (期末試験・中間確) | 提出物 (レポート・作品等) | 無形成果 (発表・その他) |
| 【関心・意欲・態度】 | ① 社会で働くことの意味を理解し当事者意識をもつことを通して、社会人としての責任感・倫理観を身に着ける。 ② 自分の目指す、とくに地域の業界や職種を肌で感じ、学び続けるモチベーションを高める。 | | 5点 | 15点 |
| 【知識・理解】 | ③ 学生と社会人との違いを自分自身の問題として感じ取り自覚し今後の専門的・実践的知識の学修に役立てる。 | | 5点 | 5点 |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 | ④ 日々の活動を所定の日誌に記録し、企業等担当者のコメントをいただくことにより、社会で働くために必要となる能力や知識、技術などを確認する。⑤ とりわけチームで活動するためのコミュニケーション力や実践力を身に着ける。 | | 50点 | 5点 |
| 【思考・判断・創造】 | ⑥ インターンシップを通して感じたこと、経験したことを踏まえ、自分が将来どうあるべきか、そのためにはどうするべきかを考える。⑦ 社会事象を新しい視角で考察し、新たなビジネス領域にチャレンジする能力を身に着ける。 | | 15点 | |

| ○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法) | |
|--|--|
| インターンシップ日誌へ毎日の報告を記入し、企業等担当者よりコメントをいただき、報告します。出席状況(全出席が前提)と日誌の内容、企業等担当者による評価、研修報告の内容により成績を評価します。達成水準の目安は以下の通りです。インターンシップ日誌は、成績をつけ終わり次第、教務担当から返却します。 | |
| [Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 事前研修への出席と研修報告を単位認定の条件とします。達成水準の目安は以下の通りです。 | |

| ○その他 | |
|--------------------------------|--|
| ・何かわからないことがあれば、進路センターを訪ねてください。 | |

2021年度 授業シラバスの詳細内容

| ○授業計画 | 科目名 担当教員 | フィールドワーク (Fieldwork) 今西 衛 | 授業コード | E043901 |
|---|----------------------|------------------------------|-------|---------|
| 学修内容 | | | | |
| 1. インターンシップガイダンス インターンシップの概要と受け入れ先の企業等に関する説明をします。 ※履修登録は不要です。 | | | | |
| 予習 | 自分の関心のある業界、企業を調べる。 | | | 約2時間 |
| 復習 | 配布資料を整理する。 | | | 約2時間 |
| 2. 企業の選択 インターンシップ先を探します。 企業と学生の希望を照らし合わせ、インターンシップ先を決定します。 ※進路開発センターで「インターンシップ日誌」等を受け取ります。 ※「課外活動願」に必要事項を記入し、進路開発センターに提出します。 | | | | |
| 予習 | 業界、企業を絞り込む。 | | | 約2時間 |
| 復習 | 企業を決定し、必要書類を作成、提出する。 | | | 約2時間 |
| 3. インターンシップ事前研修1 基本的なマナーから自己分析、業界研究に至るまで、自分の将来を考え、インターンシップをより有効的なものにする為の研修です。社会人として身につけるべきマナーについて学ぶとともに、コミュニケーションの方法、実習先の業界に対する研究をします。 ※事前研修を受けないと、インターンシップには参加できません。 | | | | |
| 予習 | 自分の行く企業について調べる。 | | | 約2時間 |
| 復習 | 配布資料を整理する。 | | | 約2時間 |
| 4. インターンシップ事前研修2 基本的なマナーから自己分析、業界研究に至るまで、自分の将来を考え、インターンシップをより有効的なものにする為の研修です。社会人として身につけるべきマナーについて学ぶとともに、コミュニケーションの方法、実習先の業界に対する研究をします。 ※事前研修を受けないと、インターンシップには参加できません。 | | | | |
| 予習 | 自分の行く企業について調べる。 | | | 約2時間 |
| 復習 | 配布資料を整理する。 | | | 約2時間 |
| 5. インターンシップの実施1 実際に企業等に通り、研修を行います。研修中は従業員と同様、その企業の規則に従い実際に社会における仕事を体験します。研修期間は企業によって異なる場合があります。 1週間(8時間×5日、ただしこのシラバスでは便宜上10週分としてカウントします)以上のインターンシップを対象とし単位を認定します。 ※「インターンシップ誓約書」に必要事項を記入し、企業等担当者に提出して下さい。 | | | | |
| 予習 | 研修日誌など必要書類を準備する。 | | | 約2時間 |
| 復習 | 研修日誌に記載する。 | | | 約2時間 |
| 6. インターンシップの実施2 その企業の規則に従い実際に社会における仕事を体験します。 ※日々の活動を所定の「日誌」に記録し、企業等担当者に内容を確認していただきます。 | | | | |
| 予習 | 当日の業務内容について下準備をする。 | | | 約2時間 |
| 復習 | 研修日誌に記載する。 | | | 約2時間 |
| 7. インターンシップの実施3 その企業の規則に従い実際に社会における仕事を体験します。 ※日々の活動を所定の「日誌」に記録し、企業等担当者に内容を確認していただきます。 | | | | |
| 予習 | 当日の業務内容について下準備をする。 | | | 約2時間 |
| 復習 | 研修日誌に記載する。 | | | 約2時間 |
| 8. インターンシップの実施4 その企業の規則に従い実際に社会における仕事を体験します。 ※日々の活動を所定の「日誌」に記録し、企業等担当者に内容を確認していただきます。 | | | | |
| 予習 | 当日の業務内容について下準備をする。 | | | 約2時間 |
| 復習 | 研修日誌に記載する。 | | | 約2時間 |

| ○授業計画 | 科目名 担当教員 | フィールドワーク (Fieldwork) 今西 衛 | 授業コード | E043901 |
|--|--------------------------------|------------------------------|-------|---------|
| 学修内容 | | | | |
| 9. インターンシップの実施5 その企業の規則に従い実際に社会における仕事を体験します。 ※日々の活動を所定の「日誌」に記録し、企業等担当者に内容を確認していただきます。 | | | | |
| 予習 | 当日の業務内容について下準備をする。 | | | 約2時間 |
| 復習 | 研修日誌に記載する。 | | | 約2時間 |
| 10. インターンシップの実施6 その企業の規則に従い実際に社会における仕事を体験します。 ※日々の活動を所定の「日誌」に記録し、企業等担当者に内容を確認していただきます。 | | | | |
| 予習 | 当日の業務内容について下準備をする。 | | | 約2時間 |
| 復習 | 研修日誌に記載する。 | | | 約2時間 |
| 11. インターンシップの実施7 その企業の規則に従い実際に社会における仕事を体験します。 ※日々の活動を所定の「日誌」に記録し、企業等担当者に内容を確認していただきます。 | | | | |
| 予習 | 当日の業務内容について下準備をする。 | | | 約2時間 |
| 復習 | 研修日誌に記載する。 | | | 約2時間 |
| 12. インターンシップの実施8 その企業の規則に従い実際に社会における仕事を体験します。 ※日々の活動を所定の「日誌」に記録し、企業等担当者に内容を確認していただきます。 | | | | |
| 予習 | 当日の業務内容について下準備をする。 | | | 約2時間 |
| 復習 | 研修日誌に記載する。 | | | 約2時間 |
| 13. インターンシップの実施9 その企業の規則に従い実際に社会における仕事を体験します。 ※日々の活動を所定の「日誌」に記録し、企業等担当者に内容を確認していただきます。 | | | | |
| 予習 | 当日の業務内容について下準備をする。 | | | 約2時間 |
| 復習 | 研修日誌に記載する。 | | | 約2時間 |
| 14. インターンシップの実施10 その企業の規則に従い実際に社会における仕事を体験します。 ※日々の活動を所定の「日誌」に記録し、企業等担当者に内容を確認していただきます。 ※「総括レポート」を記入し、企業担当者に「研修指導者からのコメント」をいただきます。 | | | | |
| 予習 | 当日の業務内容について下準備をする。 | | | 約2時間 |
| 復習 | 研修日誌に記載する。 | | | 約2時間 |
| 15. 研修報告 「インターンシップ日誌」を作成し、インターンシップを通して感じたこと、経験したことを踏まえ、自分が将来どうあるべきか、そのためにはどうするべきかを考え、進路開発センターに提出します。 | | | | |
| 予習 | 報告書を作成する。 | | | 約2時間 |
| 復習 | 総括レポートを作成する。 | | | 約2時間 |
| 16. インターンシップ日誌の提出 ※「課外活動報告書」に「インターンシップ日誌」を添付して進路開発センターに提出します。 | | | | |
| 予習 | 総括レポートを完成し、インターンシップ日誌とともに提出する。 | | | 約2時間 |
| 復習 | | | | |